

県内震災避難者対象に初開催



水辺の生き物探しに挑戦する子どもたち＝三島市の源兵衛川

GW三島

心を元気にするツアー

12家族39人が参加

伊豆、三島で自然体験満喫

NPO法人クラウドワーク三島は23～25日の2泊3日の日程で、東日本大震災の影響で県内に避難している家族を対象にした「心を元気にするショートツアー」を実施した。子どもから大人まで、心に不安や戸惑いを抱えている県内避難者が、遊戯施設やバーベキュー、自然体験を通じて楽しいひとときを過ごし、笑顔を取り戻した。

同NPOが取り組む東「ジェクト」の一環。これまで6回のツアーを行っているが、第7回は初めて県内に避難している避難者を対象に募集した。三島市のほか浜松市や

焼津市、富士宮市などに避難している福島などからの12家族39人が参加した。期間中は、伊豆市の日本サイクルスポーツセンターでのアトラクション体験や天城ふるさと広場でのバーベキュー、修善寺温泉散策のほか、三島市では源兵衛川中流域

などで水生生物観察会も開いた。水辺では、たも網を手にした子どもたちがホトケドジョウやサワガニなどを見つけた。参加者からは「自分一人がつらいと思わず、もっと明るく、前向きに生きていけたらと思えるようになった」といった感想があった。

